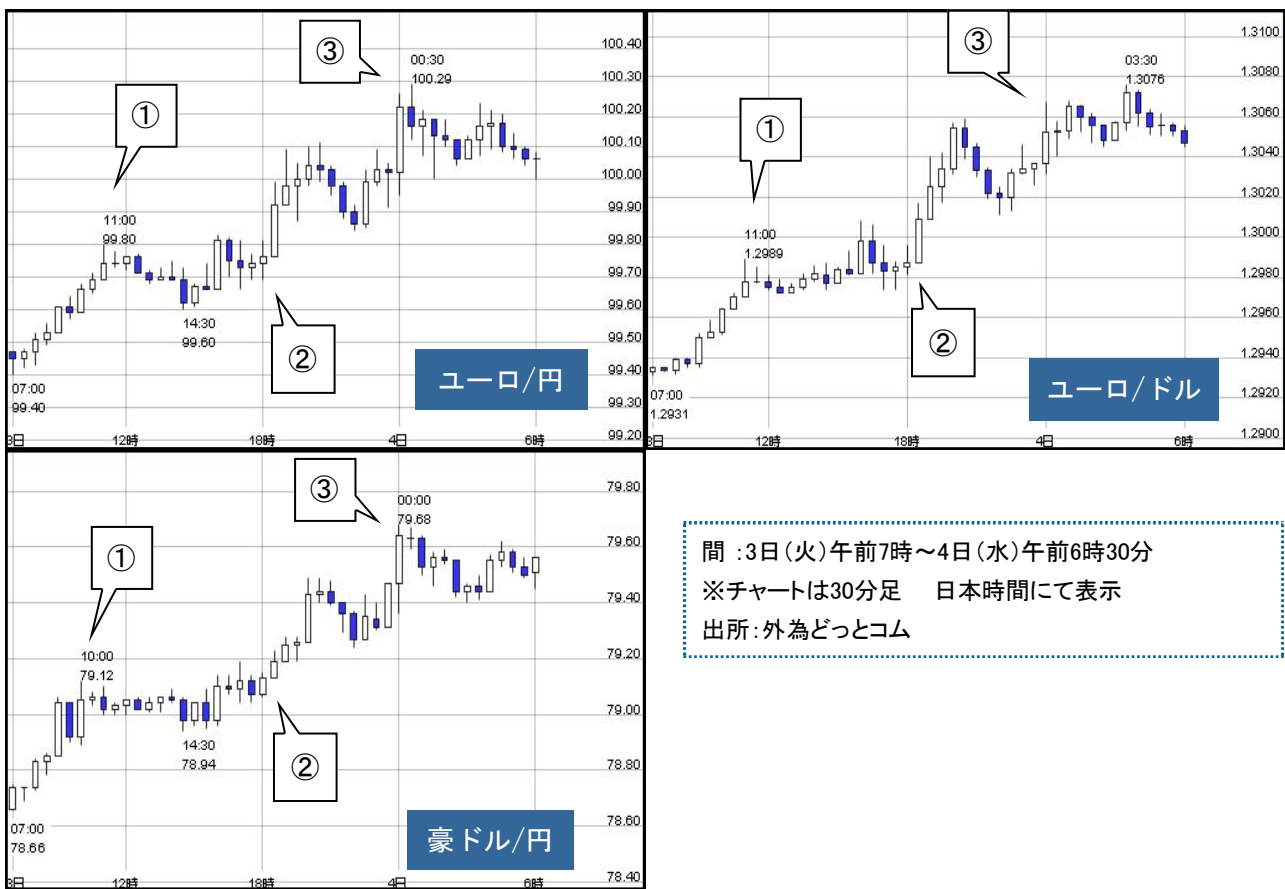


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月4日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

主要国の株式市場と原油相場がカギ

3日(火)の主な推移



間 : 3日(火)午前7時~4日(水)午前6時30分

※チャートは30分足 日本時間にて表示

出所: 外為どっとコム

①

イランを巡る地政学的リスクの高まりを受けて原油相場が一時 100.50 ドル台まで上昇し、資源国通貨買い・ドル売りの流れとなった。また、10 時過ぎに発表された中国 12 月非製造業PMIが 56.0 と前月(49.7)より上昇し、好不況の分岐点である50を越えた事が伝わると、中国の景気拡大により豪州との貿易が活発化するとの期待から、豪ドル/円は 79.12 円まで買われた。ユーロ/ドルは先ほどのドル売りの流れやアジア株の堅調推移を背景に一時 1.2989ドルまで上昇した他、ユーロ/円も 99.80 円まで値を上げた。

②

独 12 月失業率は 6.8%、失業者数は 2.2 万人減と予想(失業率: 6.9%、失業者数: 1.0 万人減)より強い内容となった。直後の市場の反応こそ薄かったものの、これを背景に欧州株が上昇した他、原油先物相場の上昇も重なると、ユーロや豪ドルは上昇した。

③

米 12 月ISM製造業景況指数は 53.9 となり、予想(53.5)より強い内容を好感してNYダウ平均が一時 260ドル超の上昇となった。これを受けてユーロや豪ドルの上昇が加速、豪ドル/円は 79.68 円まで、ユーロ/円は 100.29 円まで上昇した他、ユーロ/ドルも値を上げた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・欧州重債務国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・欧州重債務国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)
- ・本邦当局の円売り介入観測(ユーロ/円上昇要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利下げ観測の後退(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・本邦当局の円売り介入観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀の追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪中銀の利下げ観測(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル : 1.2960-1.3200ドル
 ユーロ/円 : 99.20-101.10円

本日の予想レンジ

豪ドル/円 : 78.60-80.30円

本日は主要国の株式相場の動向に注目したい。昨年12月30日に発表されたシカゴIMMのユーロ売りポジションはユーロ導入来の最大を記録する中、昨日は欧米株の上昇を背景にユーロ買いが優勢となった。本日もアジア市場を始め、主要国で株高の流れが続くようだと、ユーロを買い戻す流れが強まりそうだ。とはいえ、欧州債務不安が根強い現状では、積極的にユーロを買う動きにはつながりにくく、株価の上昇が一服すれば再びユーロ売りの展開となる事も考えられる。(川畑)

3日に一時79.68円まで上昇し、直近の高値(12月23日につけた79.49円)を越えて12月8日以来の高水準に達した事で、目先はポリンジャーバンド2シグマ上限(本稿執筆時点では80.26円)に向けた上値模索の動きとなる可能性がある。昨日は欧米株や原油相場の上昇をきっかけに豪ドルは値を上げており、本日もこれらの動向に注目したい。なお、現状では20日移動平均線(同、78.64円)がほぼ横ばいで推移しており、一度は下値を支えそうである。(川畑)

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/4(水)	19:00	○	(ユーロ圏) 12月消費者物価指数・速報 [前年比]	+3.0%	+2.8%
	24:00		(米) 11月製造業受注指数 [前月比]	-0.4%	+2.0%
1/5(木)	09:30	○	(豪) 11月貿易収支	+15.95億AUD	+20.00億AUD

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。